

まちづくり評価シート

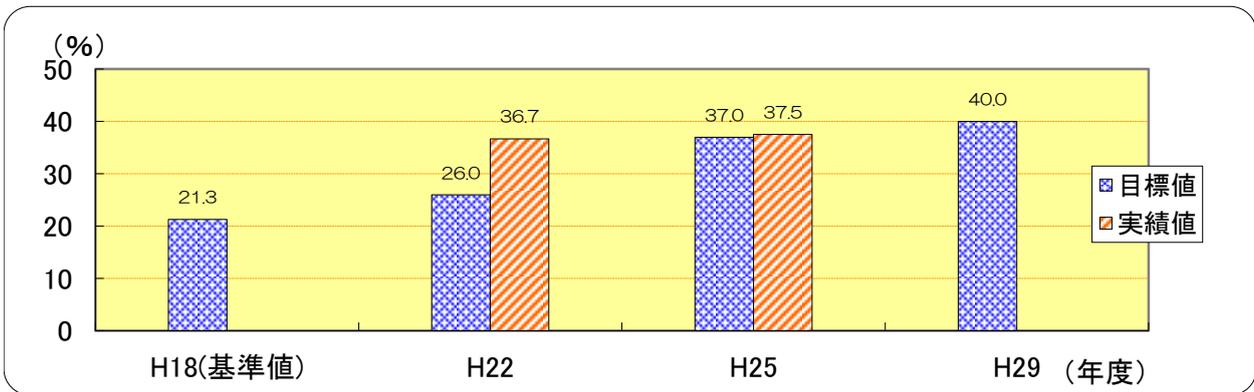
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで生活している

指標名	秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	37.0	市民満足度調査の結果により、達成率が101.4%と鉄道駅付近での基盤整備が進み概ね目標は達成できているが、個別目標の中には目標を下回る成果もあるため、今後の展開方針に基づき施策を検討していく必要がある。
実績値		21.3	37.5	
達成率	%	—	101.4	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

少しずつではあるが都市計画道路の整備が進み、効果を実感することができ、また多くの市民が利用する鉄道駅付近の整備として江南駅のバリアフリー化、布袋駅の鉄道高架化及び布袋南部土地地区画整理事業の整備状況が目に見える形で確認できるような段階となり市民満足度も達成されたため、今後も早期完成に向けて基盤整備を進めていくことが有効である。

個別目標① 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

指標名	都市計画道路の整備率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	65.1	65.1	65.7	・都市計画道路整備事業(布袋本町通線) ・都市計画道路整備事業(江南通北線)
実績値		64.5	66.1	66.5	66.8	
達成率	%	—	101.5	102.2	101.7	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	都市計画道路の必要性について理解を深め、沿線権利者の方々には用地を提供し、整備工事に協力した。
市役所	都市計画道路の整備に関する情報を市民へ伝えながら理解を求め、工事中には安全確保や速やかな完了を念頭に整備を行った。

目標達成のための今後の展開方針

都市計画道路の整備事業を進めていくにあたり、厳しい財政状況の中、効率的な事業推進を図るため、権利者へ整備の必要性について理解を求めながら、粘り強く交渉を継続していく。

個別目標に対するまちづくり評価

時代のニーズに合った街づくりを推進するため、地元組織との調整を心掛けてほしい。
街づくりは現在の情勢を踏まえながら、将来を見据えた計画で進めてほしい。

個別目標② 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている

指標名	駅前や市街地が整備され、人々が集い賑わっていると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	13.0	15.0	16.0	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		8.8	—	—	18.1	
達成率		—	—	—	113.1	
達成状況		—	—	—		
取り組みの状況						
市民	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、事業への理解を深め工事に協力した。					
市役所	江南駅前広場シェルター設置工事や布袋駅付近鉄道高架化整備事業にあたり、地元と調整しながら工事を行い、駅利用者等の利便を図った。					

指標名	江南駅・布袋駅の1日乗降客数					
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	人	—	33,800	33,800	34,200	・江南駅バリアフリー化対策事業 ・布袋駅付近鉄道高架化整備事業
実績値		33,800	32,736	33,020	34,273	
達成率		—	96.9	97.7	100.2	
達成状況		—	—			
取り組みの状況						
市民	駅周辺事業の推進に合わせ、公共交通機関を積極的に利用した。					
市役所	江南駅前広場シェルター設置について地元と調整しながら工事を施工し、駅利用者等の利便を図った。 布袋駅の高架化を地元調整のうえ、共同事業者である愛知県及び施工者である名鉄と協議しながら整備を進めた。					

指標名	江南駅前広場を通過する車両の台数						
	単位	H17 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	台	—	6,000	6,000	5,000	・江南駅周辺交通環境改善事業	
実績値		8,800	—	—	—		
達成率		%	—	—	—		—
達成状況		—	—	—	—		—

取り組みの状況	
市民	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しない道路を利用することにより駅前広場へ進入しなくなった。
市役所	駅利用と関係ない車両は、駅前広場に流入しないように周辺道路を整備することにより駅前広場への進入を減少させた。

目標達成のための今後の展開方針
<p>地元商店街等の団体、地元住民と調査研究を行いながら、駅前周辺の交通混雑の緩和及びバリアフリー化により、駅周辺の利便性や街の活性化に繋がる施策を展開していく。</p> <p>布袋地区において、新しいまちづくり体制の組織化及び魅力あるまちづくりを目的とする地元住民による自主的なまちづくり活動を支援していく。</p>

個別目標に対するまちづくり評価
<p>江南駅前広場の整備を始め駅及び駅周辺の基盤整備により駅利用者の利便が図られ、これらの整備効果が駅乗降客数の増加につながった一因として考えられ、駅前としての活気ある賑わいにつながったように感じられた。</p> <p>布袋駅付近鉄道高架化の早期完了を目指し、愛知県、鉄道事業者との調整により、遅滞のない事業進捗に努められるとともに、布袋駅の玄関にふさわしい、交通結節機能の充実した賑わいのある駅前広場づくりを進められたい。</p>

個別目標③ 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

指標名	土地区画整理事業の移転件数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	件	—	183	183	183	・物件移転等補償事業	
実績値		106	182	183	183		
達成率		%	—	99.5	100.0		100.0
達成状況		—	—				

取り組みの状況	
市民	事業への理解を深め、物件移転に協力した。
市役所	移転計画の策定・見直しにより、地権者の理解・協力のもと物件移転を完了した。

指標名		土地区画整理事業の進捗率				
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	95.1	95.6	96.5	・物件移転等補償事業 ・道路・排水路等整備事業 ・仮換地測量事業
実績値		85.4	90.9	92.3	92.8	
達成率		—	95.6	96.5	96.2	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	物件移転に合わせ実施される道路・排水路等の整備に協力した。					
市役所	物件移転の計画的な実施に合わせ、道路・排水路等の整備を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>職員のスキルアップや情報収集を行い、事業の早期完了を目指し、換地処分に係る事務手続きの準備を進めていく。</p> <p>鉄道高架化事業の進捗状況を踏まえ、事業施行期間及び資金計画を精査し、必要な事務手続きを進めていく。</p>	
個別目標に対するまちづくり評価	
<p>鉄道高架化事業完了後速やかに、事業として残っている道路等の所要整備を実施し、換地処分により事業が早期に完了できるよう計画的な執行に努められたい。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

都市計画道路の整備によりネットワーク化が進むとともに安心安全な歩行空間が確保され快適で暮らしやすいまちづくりにつながった。

また江南駅のバリアフリー化、布袋駅の鉄道高架化及び布袋南部土地区画整理事業における基盤整備が進み、市民がこれらの状況を実際に見たり利用したりすることで満足度へつながり、引き続きこれらの取り組みを進めることが重要であることを認識した。

◆柱全体の今後の課題

多くの市民が利用する鉄道駅付近における基盤整備については、まちづくりを進める中で重要な役割を担っているため、社会情勢や財政状況等を踏まえ集中と選択をする中で、現在は布袋駅付近の整備を集中的に施行しており、江南駅付近の都市計画道路を始めとした基盤整備が遅れている状況である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

国の交付金制度を活用し、布袋駅付近鉄道高架化及び関連事業を集中的に整備を進め、その完成を見据えながら江南駅付近における基盤整備やその他の都市計画道路の整備に向け、地元との調整や現状を把握、調査し計画するなどの準備を進めることが必要である。

まちづくり評価シート

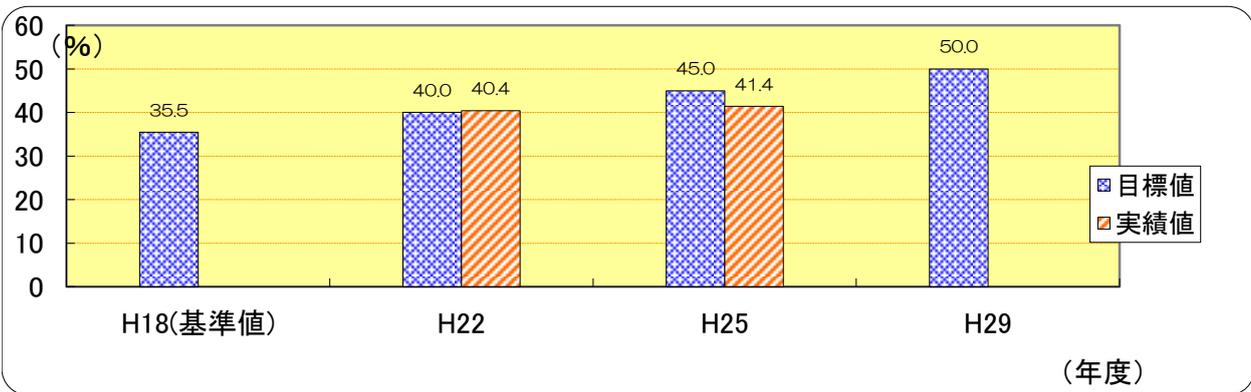
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木課【担う柱:2 人にやさしいまちづくり】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 市民が日常的に利用する生活道路を地元等の要望を基に整備したことにより、概ね市民の満足度が得られたと考えられる。
目標値	%	—	45.0	
実績値		35.5	41.4	
達成率	%	—	92.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価
道路が整備され、人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合が、平成25年度の目標値45%に対し実績値41.4%、達成率92.0%を得たことは評価できる。今後は、更に実績値を上回るように施策を進めることを願いたい。

個別目標① 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している

指標名	市道のアダプト制度の登録者数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・アダプト・プログラム事業
目標値	人	—	777	971	1,166	
実績値		175	338	409	544	
達成率	%	—	43.5	42.1	46.7	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	

取り組みの状況	
市民	道路・河川に愛着をもち、積極的にアダプト活動に参加した。
市役所	広報でアダプト活動の紹介を行うことにより、道路・河川に愛着をもたせ、道路施設に対する意識の高揚を図った。アダプトプログラム懇談会に出席し、参加者との交流を図るとともに、活動に係る課題や提案等について意見交換を行った。

目標達成のための今後の展開方針

広報、ホームページで、アダプト制度の紹介を行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民に地域の道路・河川などに愛着を持たせることができるので、広報等でPRを行い、アダプトプログラムの登録者数の増員を図るよう努めていただきたい。

個別目標② 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

指標名		主要市道の歩道整備率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	70.0	71.0	72.0	・道路新設改良事業(市道後飛保和田線) ・道路新設改良事業(市道江南小牧線)
実績値		65.1	67.0	67.0	67.5	
達成率		—	95.7	94.4	93.8	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が歩道を整備するように要望した。 地権者が用地買収に応じた。					
市役所	市道後飛保和田線の用地取得のため、用地交渉を行い道路用地を取得した。 市道江南小牧線の用地取得のため、用地交渉を行い道路用地を取得した。					

指標名		舗装整備率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	92.0	92.5	93.0	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		89.1	91.9	91.9	86.0	
達成率		—	99.9	99.4	92.5	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	区長等が舗装を整備するように要望した。					
市役所	区長等の要望に基づき舗装工事を実施した。					

指標名		道路案内標識設置数				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	基	—	80	85	90	・道路側溝・舗装工事等事業
実績値		55	61	73	85	
達成率		—	76.3	85.9	94.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	目的地へスムーズに到達するために必要となる案内標識設置箇所を要望した。					
市役所	目的地へ安全にスムーズに誘導するために必要となる案内標識設置箇所の洗い出しを行った。					

目標達成のための今後の展開方針

主要市道の歩道整備率については、道路新設改良事業を実施することにより、整備率が向上していく。また、舗装整備率及び道路案内標識設置数については、道路側溝・舗装工事等事業により計画的に実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

主要市道の歩道整備・舗装整備については、一定の成果がでているので評価できる。橋りょう長寿命化事業についても計画どおりに進捗し評価できる。両事業とも、定期的に現状を把握し、計画の見直しをすることも念頭においていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、市民により一層地域の道路・河川などに愛着を持たせることができ、環境美化に対する認識は高まってきたと思われる。また、限られた財源の中で、より必要性の高い整備路線を選定し、老朽化した道路を改修することにより、計画的、効率的な道路整備を行うことができた。

◆柱全体の今後の課題

道路が整備され人や車が安全・快適に通行していると感じる市民の割合は、市民満足度調査によれば半分にも満たない約41.4%という結果である。

市民が日常的に利用する生活道路の安全性、利便性の向上に対するニーズが高まっていることを踏まえ、限られた財源において、より計画的、効率的な道路整備を行うことが大きな課題となる。そのためにも、職員の意識の向上が求められるとともに、より質の高いサービスを提供するために財源の確保が必要になる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

人にやさしいみちづくりの早期実現を目指し、限られた資源により最大限の効果が得られるよう常に心がけて取り組む。そのためにも、市民がみちづくりに積極的に参加してもらえよう関係各課と調整を行い、また、市民の声を聞く機会を充実させ、その声を効率的に反映するように日常的なパトロールの強化に努める。

まちづくり評価シート

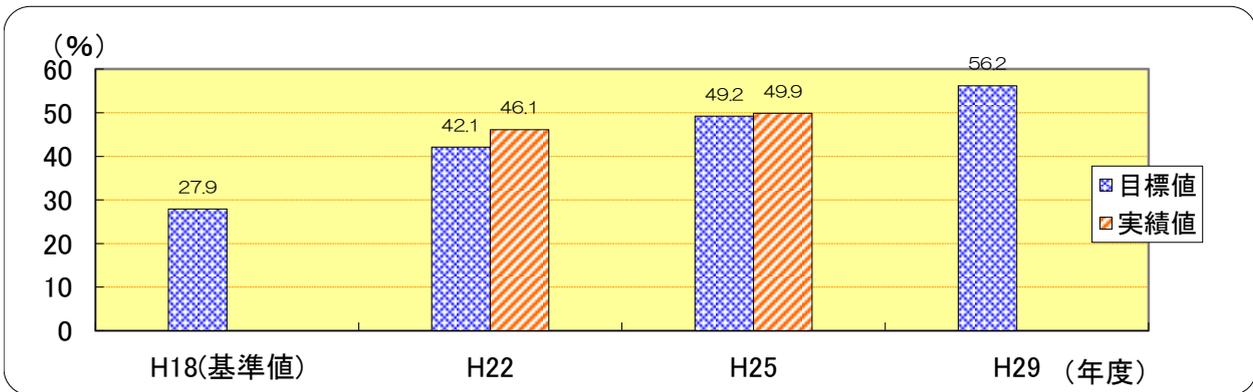
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

まちづくり課【担う柱:3 花と緑あふれる公園づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている

指標名	ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 年々来園者が増加するフラワーパーク江南の影響が大きい。曼陀羅寺公園整備事業での藤の再生や平成23年3月完成の遊歩道・サイクリングロードなどの整備により満足度が上昇している。
目標値	%	—	49.2	
実績値		27.9	49.9	
達成率	%	—	101.4	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

フラワーパーク江南の開園や曼陀羅寺公園の整備、遊歩道サイクリングロードの完成により目標を上回っているが、老朽化してきている施設や設備の改修を計画的に進めてほしい。
国の厳しい財政状況から開園区域の拡大が難しい中、年々来園者が増加しているフラワーパーク江南のⅡ期エリアの早期実現に向けて継続して要望を行う一方、江南市緑の基本計画に沿った地域格差の解消に向けた公園整備を進めてほしい。

個別目標① 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている

指標名	市民1人当たりの都市公園面積					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・街区公園等整備事業 ・木曾川上流域整備促進事業 ・都市公園長寿命化事業
目標値	㎡	—	3.65	3.65	5.00	
実績値		2.52	3.66	3.66	3.77	
達成率	%	—	100.3	100.3	75.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	都市公園等を集いの場や遊びの場として適切に利用した。
市役所	老朽化や低いフェンスの改修要望を受け、整備を図った。 国土交通省や木曾川上流河川事務所へ国営公園の整備促進について要望した。 都市公園長寿命化計画に基づき、中央公園園路等を改修した。

目標達成のための今後の展開方針

残された資源を有効に活用しながら、緑の基本計画に沿った整備を行う。
フラワーパーク江南のⅡ期エリアの早期開園に向けて継続して国に働きかける。

個別目標に対するまちづくり評価

児童遊園等のフェンス改修や中央公園の園路改修を実施し、市民のニーズに応えているのは評価できる。
市民1人当たりの都市公園面積は国や県と比較して低い状況であるので、平成23年3月に策定された緑の基本計画に沿った公園整備をお願いしたい。

個別目標② 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている

指標名	花いっぱい運動実施箇所数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	箇所	—	27	32	33	・緑化推進事業 ・江南花卉園芸公園イベント実行委員会補助金交付事業
実績値		25	33	33	34	
達成率	%	—	122.2	103.1	103.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	花壇やプランターなどに植栽して花を育てて、花いっぱいコンクールに応募した。 シンボルツリーの配付を受けて樹木を植栽し、自宅などの緑化を推進した。 駐車場や庭などに芝生を植えて緑化した。 緑の募金運動や花いっぱい運動に協力し、募金や花の植栽、水やり・除草などに参加した。					
市役所	花苗と必要に応じて培養土や肥料を配付した。 江南市緑の基本計画における施策「樹木の配布による緑化の支援の充実」のため、シンボルツリー配付事業を実施した。 駐車場や庭などの緑化に補助金を交付した。					

目標達成のための今後の展開方針

シンボルツリー配付事業について、記念日を増やすことなどを検討し、申請件数の増加を図る。

個別目標に対するまちづくり評価

花いっぱい運動実施地区数は、僅かながら増加し、都市緑化推進事業補助金の件数も増加していることから、市民の緑化に対する意識は向上していることが伺える。
シンボルツリー配付事業の申請件数が前年度より多くなっているが、目標の半数程度にとどまっており、増やす方策を検討されたい。

個別目標③ 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

指標名		地域で管理されている公園緑地などの数				主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	箇所	—	30	32	34	・公園等維持管理事業
実績値		28	35	35	35	
達成率		%	—	116.7	109.4	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	公園、児童遊園などを地元地区で管理し、地元のつどいの場として適切に利用した。地元にある公園などの清掃・除草が地元区でできないか検討した。
市役所	安心・安全に利用できるよう遊具点検を行い、不良箇所の適切な対応に努めた。公園などの清掃・除草が地元区でできないか協議した。

目標達成のための今後の展開方針

新規に設置する公園等について、地元管理に係る協議を行ったうえで整備を進めていく。市管理の公園等について、地元の意向確認により管理委託を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

地元で管理委託している公園等の数は、伸び悩んでいるものの目標値を上回っていて評価できる。シルバー人材センターへ委託しているものを地元区に依頼するのは難しい面があるが、タイミングを捉えて地元の意向を聞きながら進めることを努力されたい。開発で新規に設置された公園等について、地元で維持管理してもらおうよう努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中央公園園路等の改修や蘇南公園園路のバリアフリー化、9箇所の公園・児童遊園などのフェンスの改修等を施工し、公園などの整備を図った。都市公園である国営木曽三川公園フラワーパーク江南の開園区域が拡大し、公園等の充実を図ることができた。緑の基本計画におけるシンボルツリー配付事業や都市緑化推進事業により、市民の緑化意識は高まった。

◆柱全体の今後の課題

今後の都市公園の整備については厳しい状況にあるが、平成22年度に策定した江南市緑の基本計画において定めている基本方針に沿って整備を進める必要がある。花いっぱい運動について、魅力のある花や色合いの選定や植栽方法を工夫するなどにより運動の活性化を図る必要がある。新規に設置する公園等について、地元で清掃委託できるように地元区と協議を進めながら整備していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

今後の都市公園の整備については、江南市緑の基本計画に沿って整備を進めるとともに、フラワーパーク江南のⅡ期エリアの早期開園について要望活動を行い、都市公園面積の増加を図る。策定した都市公園施設長寿命化計画により、計画的な改修・更新を進める。新規に設置する公園等については、地元で清掃委託できるように地元区と協議を進めながら整備する。遊歩道・サイクリングロードを活用したイベントをより広範囲に展開し、サイクリングロードのみではなくフラワーパーク江南などの利用促進を図り、地域の活性化につなげたい。

まちづくり評価シート

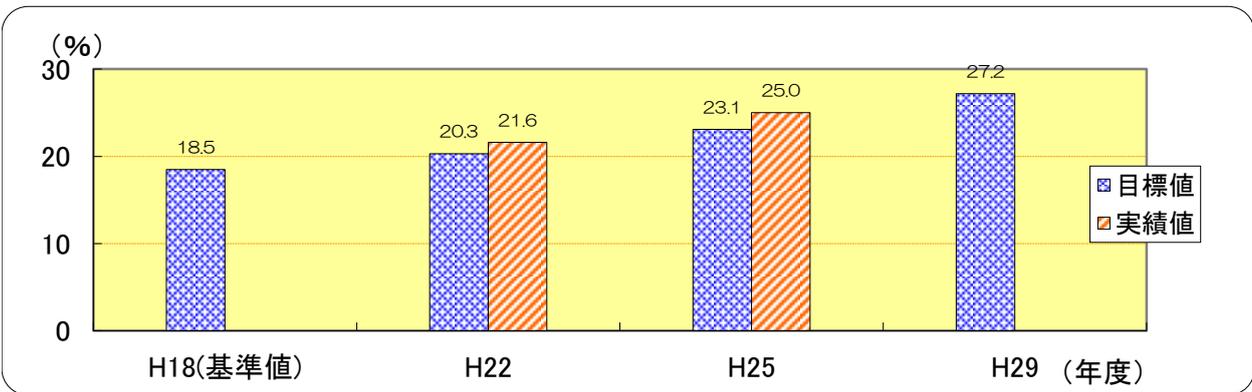
水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

下水道課【担う柱:4 公共下水道の普及促進】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 下水道が整備され、快適な水環境の下で生活している

指標名	下水道普及率			実績値の分析
	単位	H18 (基準値)	H25	
目標値	%	—	23.1	市民の清潔で快適な生活環境の向上のため下水道整備促進に努めた。
実績値		18.5	25.0	
達成率	%	—	108.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

下水道普及率の実績値(平成25年度)は25.0%で目標値を達成することができているが、県下における下水道普及率74.7%に比べると大きく遅れている。今後は更に事業の進捗を図り、下水道普及率を向上させる必要がある。

個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている

指標名	下水道使用料の収納率(現年度)					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	
目標値	%	—	↑	↑	↑	・下水道使用料賦課徴収事業
実績値		98.9	99.2	99.4	99.3	
達成率		%	—	100.3	100.5	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	下水道使用料を納付した。
市役所	下水道使用料のコンビニ収納を導入し、納付機会の拡大により納付者の利便性を高めながら納期内納付を推進し収納率の向上を図った。

指標名 受益者負担金の収納率(現年度)						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・受益者負担金賦課徴収事業
実績値		98.8	98.7	99.2	99.2	
達成率	%	—	99.9	100.4	100.4	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道受益者負担金を納付した。					
市役所	受益者負担金の徴収及び啓発活動に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>コンビニ収納により、納付者の利便性を高めながら納期内納付を推進し収納率の向上を図るとともに、受益者負担金の収納率を向上させるために、供用開始説明会や市民まつり等イベントの折に受益者負担金に対する理解を求めるよう努力する。</p>	
個別目標に対するまちづくり評価	
<p>下水道使用料、受益者負担金の適切な徴収は、事業の健全な経営及び住民間の公平性の確保につながる。今後もさらなる取り組みをお願いしたい。</p>	

個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名 認可区域内の整備率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	80.2	85.9	90.1	・管きよ布設事業
実績値		66.3	83.2	85.9	90.1	
達成率	%	—	103.7	100.0	100.0	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	下水道工事説明会に参加し、埋設工事に対し理解した。					
市役所	整備地区の全世帯を対象に工事説明会を開催し、パワーポイントを用いるなど解りやすく説明を行った。 設計書の積算、工事現場の監督業務等を行い、住民生活への配慮を図りながら下水道整備区域の拡大を進めた。					

指標名		供用開始区域内の接続率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	85.0	87.0	89.0	・排水設備関連事業
実績値		67.3	81.8	82.9	84.6	
達成率		—	96.2	95.3	95.1	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	自然環境への効果等下水道の役割、必要性の理解を深めた。 下水道への接続を行った。					
市役所	職員が未接続宅を個別訪問し、下水道の必要性を説明し、早期の接続依頼を行った。 排水設備の申請を受付け、書類審査、補助金交付、検査等一連の事務を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>早期の普及率増大のため下水道の面整備を重点的に進め、費用対効果の高い事業を進めていく。 未接続宅の早期接続を促すため、供用開始後の訪問を早期に実施していく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>江南市下水道は、五条川右岸流域下水道事業として進められ、他の構成市町の事業進捗も考慮し事業を進めていく必要がある。厳しい財政状況下ではあるが、普及率向上のため早期整備が必要と考えられる。 下水道事業は都市基盤施設のひとつであり、河川環境の保全を第一の目標としている。環境問題が高まる中、市民の環境への意識も高まりつつあり、早期に事業を進める必要がある。</p>	

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果
<p>平成25年度においては、17.5haの区域を整備し、平成26年4月1日現在388.1haが下水道を使える区域になっている。</p>

◆柱全体の今後の課題
<p>下水道普及率の達成率が108.2%で目標を若干超えることができたが、依然、江南市下水道普及率25.0%は、県下の供用開始市町において下位となっており愛知県の平成25年度末の普及率74.7%(名古屋市を除くと64.2%)や、全国平均の76.3%(平成24年度末)と比べると大きく遅れている。</p>

◆柱全体の今後の取り組みの方向性
<p>平成25年度末江南市下水道普及率25.0%は、県下の供用開始市町において下位となっており、愛知県の平成25年度末の普及率74.7%(名古屋市を除くと64.2%)や、全国平均の76.3%(平成24年度末)と比べると大きく遅れている。こうした中事業の進捗を図るため、平成24年度に行った効率的整備計画の策定により図ることができたコスト縮減効果を活用し、費用対効果の高い整備手法を用いた整備を推進し、下水道普及率を向上したい。</p>

まちづくり評価シート

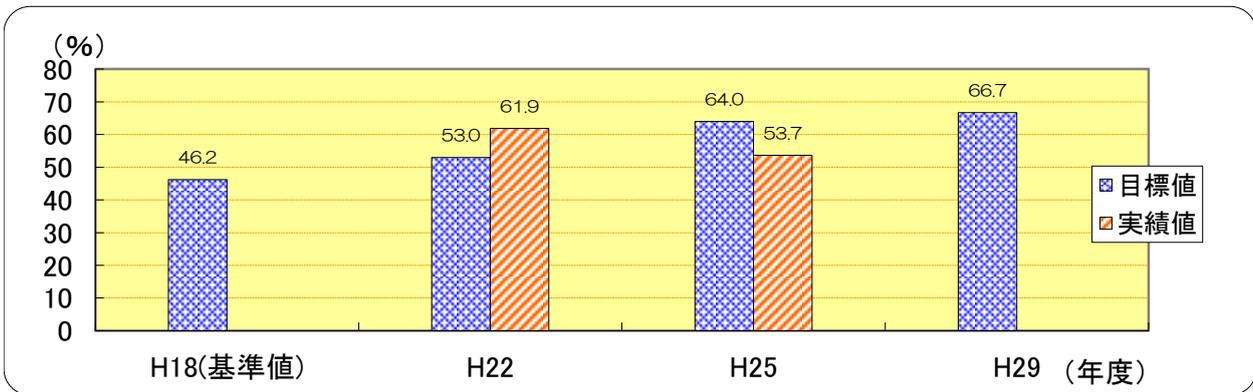
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

土木課【担う柱:5 浸水被害のないまちづくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 河川等が整備され浸水被害に遭うことなく、安心して暮らしている

指標名	河川が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 雨水貯留浸透施設設置費及び浸水防止施設設置費の補助率を見直すなどの治水対策を実施してきたが、近年のゲリラ豪雨などにより、市民の浸水被害に対する不安が増大したことから、目標値を下回ったと考えられる。
目標値	%	—	64.0	
実績値		46.2	53.7	
達成率	%	—	83.9	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価
 平成22年3月に河川・排水路対策、流域対策及び浸水被害軽減対策等を含めた第3次江南市総合治水計画が策定されているが、今後、どのような計画を実施していくかが、この先の評価に現れると考えられる。また、平成24年度に補助率が見直された雨水貯留浸透施設設置費補助制度及び浸水防止施設設置費補助制度を市民の方により一層周知してもらいたい。

個別目標① 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

指標名	準用河川般若川改修率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・準用河川般若川改修事業
目標値	%	—	92.0	92.0	100.0	
実績値		86.0	92.0	92.0	92.0	
達成率	%	—	100.0	100.0	92.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況	
市民	
市役所	一部未改修の区間があるので、般若川の下流地域の状況をみながら、改修を検討した。

指標名 雨水浸透柵設置率						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	15.0	20.0	26.0	・雨水抑制事業
実績値		12.2	9.0	4.0	1.0	
達成率	%	—	60.0	20.0	3.8	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵を口径350mm8基、口径300mm2基設置した。					
市役所	広報やホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で雨水浸透柵を設置していない建築主に設置のお願い文書を送付した。					

指標名 雨水浸透柵設置数						
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	基	—	130	150	170	・雨水抑制事業
実績値		115	54	59	10	
達成率	%	—	41.5	39.3	5.9	
達成状況	—	—	↑	↑	↑	
取り組みの状況						
市民	補助金制度を利用して雨水浸透柵口径350mm8基、口径300mm2基を設置した。					
市役所	広報やホームページを通じてPRし、また、建築確認の段階で雨水浸透柵を設置していない建築主に設置のお願い文書を送付した。					

指標名 雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数						
	単位	H21 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	件	—	100	150	200	・雨水抑制事業
実績値		45	202	277	221	
達成率	%	—	202.0	184.7	110.5	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	
取り組みの状況						
市民	雨水浸透柵口径350mm8基、口径300mm2基、雨水貯留槽(雨水タンク)303基、浸透防止施設296.8mを施工した。					
市役所	雨水貯留浸透施設(雨水浸透柵、雨水貯留槽、浸透トレンチ、透水性舗装)を設置するお願いを江南市水道工事店協同組合、江南市災害協力会、江南市建設業協会等へ行った。					

目標達成のための今後の展開方針

雨水貯留浸透施設の設置について、今まで以上のPR活動を行い、より一層設置してもらえるよう努めていく。また第3次江南市総合治水計画に基づき公共施設における雨水貯留施設の建設を進めていく。平成25年度は北部中学校の建設に着手したが、今後は古知野高等学校に設置を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

雨水貯留浸透施設の設置については、順調に伸びているようだが、浸透トレンチや透水性舗装、雨水浸透柵の設置については伸び悩んでいるようなので、今後もPRを続け設置者が増加するよう努力されたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

平成24年度に雨水貯留浸透施設設置費補助金交付要綱及び浸水防止施設設置費補助金交付要綱を改正し、補助率を4分の3から10分の9に引き上げたことにより、市民がより利用しやすい補助金制度とした。また、大雨による被害を予測しその被害範囲や避難場所を地図化したハザードマップを作成したことにより、市民が災害発生時に速やかに避難することができ、災害による被害の軽減を図ることができる。

◆柱全体の今後の課題

平成22年3月に策定された第3次江南市総合治水計画を基に、どのような手法で効率的・効果的な治水対策を実施していくかが課題となる。
雨水貯留槽、浸透柵、浸透トレンチ及び透水性舗装の雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の設置について、広報やホームページを通じて、広く市民にPRし、雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の普及に努めなければならない。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

第3次江南市総合治水計画で示している重点地区のなかで、緊急度の高い地区から順に雨水貯留施設を設置し浸水被害の軽減に努めていくとともに、市民が担う治水対策について指導や啓発を行う。

まちづくり評価シート

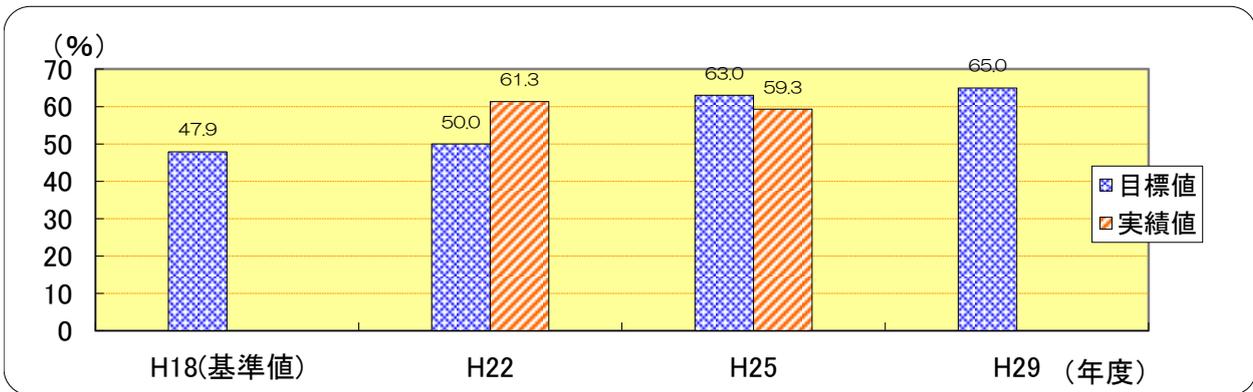
都市整備部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

建築課【担う柱:6 安心・安全な住環境の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 建築士などと協働により建築パトロールを行ったことや、適切な開発指導を行うことにより、民間開発区域内に適正な道路・緑地等が整備され、周辺的生活環境が保たれたことが評価されたと考えられる。
目標値	%	—	63.0	
実績値		47.9	59.3	
達成率	%	—	94.1	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合は、59.3%を得ているが、年度目標には達しておらず、地震に対する市民の関心が高まる中、建物の耐震化の促進と、減災化の対策についても検討していただき、更に民間の建築開発等指導員との協働により違反建築パトロールを実施するなど、施策の推進をお願いしたい。

個別目標① 建築指導及び開発指導の民間組織との協働での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

指標名	開発許可や建築許可に対する指導件数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・開発行為指導事業
目標値	件	—	260	260	260	
実績値		265	219	247	284	
達成率	%	—	118.7	105.3	91.5	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況

市民	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、地域にあった健全な街づくりに協力している。
市役所	都市計画法の開発行為等に関する許可基準に照らし、民間活力による安心で安全な街づくりの指導に努めた。

指標名 民間での建築確認割合						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	93.0	93.0	93.0	・建築確認等審査事業
実績値		84.4	96.0	96.9	97.0	
達成率		—	103.2	104.2	104.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	愛知県と愛知県から委嘱された建築開発等指導員(市内建築士)と協働で違反建築物防止のため、建築現場をパトロールした。					
市役所	民間組織での建築確認をチェックし、定期的に建築現場をパトロールした。					

指標名 耐震診断の診断実施済棟数						
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	棟	—	2,500	2,700	3,000	・民間木造住宅耐震診断事業 ・民間木造住宅耐震補強事業
実績値		798	2,218	2,398	2,448	
達成率		—	88.7	88.8	81.6	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	耐震診断を受診した。					
市役所	啓発パンフレットを用いて、耐震化の意識啓発を行った。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>開発許可や建築許可については、法令・許可基準に照らし合わせ適切に指導していく。また、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化を図るために、都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定を検討する。</p> <p>民間での建築確認件数の割合は、近年はほぼ横ばいとなっているが、建築基準法に規定する限定特定行政庁として、法令に基づき、民間組織への適正な指導を引き続き行っていく。</p> <p>また、耐震診断の診断実施済棟数については、年度別の実施棟数は減っているものの、概ね目標値を達成している。今後は、自主防災訓練等でのPR等の新たな手法を検討する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>建築指導及び開発指導並びに木造住宅耐震化の促進に対する民間組織との協働での取り組みにより、住民の安心・安全への意識啓発を図る努力は評価できる。更に安心・安全な住環境を確保できるよう、民間組織と連携を図り、効果的な建築・開発指導等をお願いしたい。</p>	

個別目標② 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	適切に整備・維持管理がなされている市営住宅の住宅戸数					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	戸	—	153	153	153	
実績値		153	153	153	153	
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	施設維持管理(共用部分の清掃、低木の剪定・消毒、草刈り)を自治会で行った。 自治会等で市営住宅の注意事項を確認した。
市役所	住宅設備の保守点検や維持管理及び各種必要な修繕を行った。 広報などで空家募集を行い住宅供給を行った。 公営住宅等長寿命化計画に基づき屋根・外壁等改修工事を行なった。

目標達成のための今後の展開方針

市営住宅の長寿命化事業としては、計画に基づき外壁等の改修を定期的に行うこととし、必要な設備改修などについても退去時に行うよう実施していく。また、入居者に対して共同住宅における注意事項についても自治会と連携して周知を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

入居者が健康で文化的な生活を送るために、施設の維持管理に努めていることは評価できる。今後も公営住宅の入居希望者は継続的な需要があると思われる、市民への市営住宅を含めた公営住宅の募集案内などの情報提供をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

愛知県建築指導課・廃棄物対策課や建築士の協力を得て、パトロールを実施し、建築現場や建物解体現場で、適正な指導をすることができた。また、耐震改修補助については、減災化及び高齢者、障害者等災害時における避難弱者への対応を目的として、江南市民間木造住宅段階的耐震改修費補助金交付要綱及び江南市民間木造住宅耐震シェルター整備費補助金交付要綱を整備した。

◆柱全体の今後の課題

耐震化の必要な木造住宅について、耐震診断の申込件数が減少している。開発行為指導については、高齢化社会に向けて、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化が課題となる。また、市営住宅については、建物の老朽化に伴い、現在行なっている外装改修工事など長寿命化を図る修繕計画を進めるとともに、市営住宅の適切な運営のために入居者が契約内容・注意事項を遵守するよう努める。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

安心・安全な住環境を確保するため、耐震化の必要な木造住宅について、耐震化に向けての更なる意識啓発に努める必要がある。また、既存コミュニティの維持や、定住人口の確保及び地域の活性化を図るために、都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定を検討する。

まちづくり評価シート

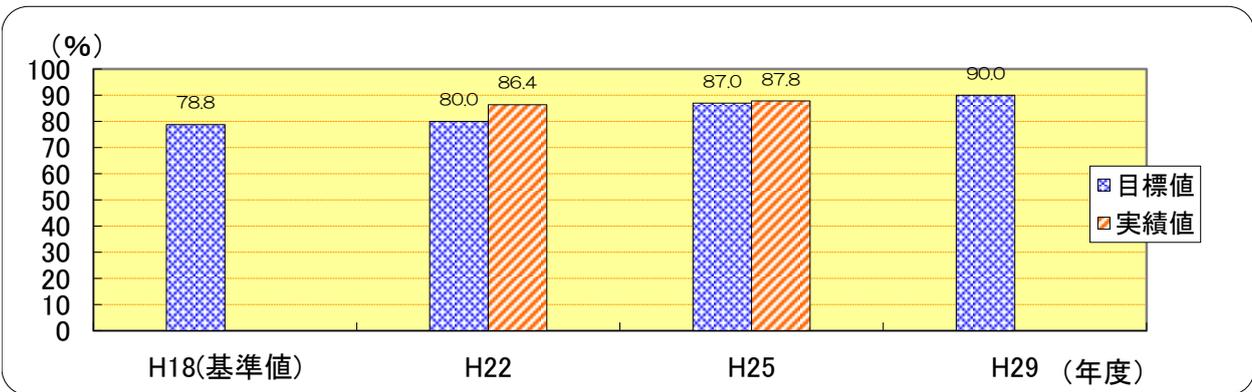
水道部【担う分野:Ⅲ 都市生活基盤分野】

水道課【担う柱:7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H25	実績値の分析 安心・安全な水の安定供給により、市民の方が断水など不便を感じることなく水道の利用ができたことから、市民満足度調査は目標値を上回り達成率100.9%となり、達成状況としては晴れマークとなった。
目標値	%	—	87.0	
実績値		78.8	87.8	
達成率	%	—	100.9	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価
 市民満足度調査結果において、「安全な水の安定供給」に対して約88%の市民が満足している。水道施設に対する耐震化が求められており、配水設備の耐震化が終了したことから、今後は配水管の耐震化と併せ、老朽管等の更新を計画的に進められたい。

個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

指標名	水道料金の収納率(現年度)					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業 ・水道料金賦課等事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	
実績値		98.4	99.2	99.4	99.5	
達成率	%	—	100.8	101.0	101.1	
達成状況	—	—	☀	☀	☀	

取り組みの状況	
市民	水道料金の早期納付に努めた。
市役所	市民のライフスタイルの多様化に伴い、終日払込みが可能なコンビニ収納により、収納機会を拡大した。

指標名		総収支比率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	106.2	106.2	106.2	・企業会計管理事業 ・職員給与管理事業
実績値		109.7	113.1	113.3	105.9	
達成率	%	—	106.5	106.7	99.7	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	水道料金の支払いに際し、収納コストの安い口座振替を利用した。					
市役所	給水収益が減少する中、経費を削減し利益を確保した。 経営健全化計画の策定、及び財政推計により、計画的に事業執行した。					

指標名		水道普及率				
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業
目標値	%	—	89.2	89.2	89.2	・簡易水道事業
実績値		88.8	89.6	90.0	90.4	
達成率	%	—	100.4	100.9	101.3	
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市水道事業への統合に向け、簡易水道組合で意見、要望を行った。					
市役所	厚生労働省からの事業変更認可に基づき、簡易水道事業を円滑に統合できるよう、その準備を進めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>今後一層の口座振替の利用促進に努めるとともに、コンビニ収納の利便性を生かし、早期収納を図る。 節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上などさまざまな課題を抱えているなか、今後、安定的・効率的な事業を継続していくため、適正な定員管理や積極的な情報開示とともに、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>安定的・効率的な事業を継続していくためには、施設の更新に向けた財源の確保が必要である。 公平・公正な水道料金の徴収が、水道事業の健全運営には欠かせないものであり、今後とも収納率の向上に努められたい。</p>	

個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

指標名		配水管改良整備率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	%	—	79.3	80.8	81.9		・配水管布設・改良事業
実績値		72.1	79.2	80.8	82.2		
達成率		—	99.9	100.0	100.4		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	配水管路に係る濁水発生などの情報を提供した。
市役所	配水管路の状況を把握し、第二次配水管改良計画に基づき、配水管布設・改良工事を実施した。

指標名		地下水の許可揚水量活用率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0		・施設維持管理事業 ・建物等の耐震化事業 ・取水、配水事業
実績値		93.8	89.5	90.7	92.1		
達成率		—	91.3	92.6	94.0		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	地下水の水質を悪化させないよう、環境に配慮した。
市役所	後飛保配水場配水池の耐震補強工事を施行し、施設の耐震化を完了するとともに、井戸の浚渫を実施することにより、地下水揚水量の低下を防止した。

指標名		有収率					
	単位	H18 (基準値)	H23	H24	H25	主な事務事業	
目標値	%	—	92.8	92.8	93.0		・配水管布設替事業 ・配水管等維持管理事業
実績値		91.4	93.6	94.2	94.4		
達成率		—	100.9	101.5	101.5		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	道路上など漏水箇所に係る情報を提供した。 宅内において、漏水箇所の発見後速やかに修理を行った。
市役所	第二次配水管改良計画に基づき、老朽管の布設替えを行い、また、漏水箇所を速やかに修理した。 メーター検針時に、宅内漏水の有無を確認し、漏水時には市民へお知らせし、漏水箇所の速やかな修理を促した。

目標達成のための今後の展開方針

平成28年度からの第三次配水管改良計画においては、江南市水道事業基本計画に基づき、配水管路の改良に係る事業量を増大する。
地下水の有効利用については、浚渫を強化し3年毎に実施しているが、年々揚水量が低下する傾向にあることから、浚渫に合わせ、平成23年度から実施している薬品洗浄を引き続き実施していく。
事業統合に係る旧簡易水道事業地区において、管路の漏水調査を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

安全な水道水の安定供給を維持していくためには、水道施設整備の充実が必要である。
想定される地震に対応するため、耐震性のある材料の使用を積極的に進められるとともに、事業継続計画(BCP)の策定を検討されたい。
地下水の有効利用については、依然として揚水量が低下傾向であるため、浚渫に合わせて薬品洗浄を実施し、更なる地下水の有効利用に努められたい。
事業統合に係る旧簡易水道事業地区においては、有効な手段である漏水調査を実施することにより、有収率の向上に努められたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

節水機器の普及などに伴う給水収益の減少傾向、アウトソーシング等による職員給与費の削減など、経費の削減により利益確保することで、安定した経営状況を維持することができた。
収納率の向上を目指し、コンビ収納を実施し使用者の利便性の確保とともに、口座振替による納付を推進することができた。
配水管改良計画に基づく工事などの実施により有収率を改善するとともに、浚渫周期の短縮により井戸の保全に努めることで、取水井に係る揚水能力の低下を防止することができた。

◆柱全体の今後の課題

近年の水需要の低迷、老朽施設の更新、法的要求事項の高度化など、水需要を取り巻く厳しい社会情勢のなか、量の充足からより安全でおいしい水の安定供給、大規模地震などを想定した危機管理体制の充実など、水道事業に求められるものは多種多様である。
こうしたなか、適切な事業計画に基づく健全な財政運営が引き続き求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

節水型社会への移行に伴う有収水量の減少、基幹管路等の施設の更新に向けた財源の確保、サービス水準の向上など様々な課題を抱えている。
今後、安定的・効率的な事業を継続していくために、適正な定員管理や積極的な情報開示とともに、的確な需要予測に基づく計画性・透明性の高い企業経営を推進する。